

# 学校だより

# 翔 空

No.17 平成23年 9月21日(水)  
郡山市立喜久田中学校長 大堀 昌弘

## 「翔空」の由来 〈校舎のシンボル〉

壁画「空へ」を受け、<sup>ふうこうめいび</sup>風光明媚なこの<sup>まなびや</sup>学舎から、希望に燃え限らない空へ、力強く翔んでほしいという願いを込めて、翔空の碑ができた。

◆ 前回、学校だよりの中でお知らせした10月2日〔日〕の喜久田地区のクリーンアップ作戦及び除染活動について、再度確認をいたします。

行政センター所長によれば、当日の活動はすべて「町内会単位」で行うため、今回は、中学校のPTAが独自の行動を行う必要はないのですが、「喜久田地区の中学校の保護者の皆様」には積極的な町内会の活動への参加をお願いしたい（お互い声をかけてほしい）とのことです。（なお、小学校は小学校独自の保護者への依頼の仕方を行っていることを付け加えておきます）

本校としては、今後PTA会長とも相談し、文化祭前に除草や除染を行うかどうか後日決定していきます。別件で、子どもたちを悩ましていたアメシロの駆除を先週土曜日に行いました。

【英語のことわざ ⑦】  
今回の諺は、日常的によく起こる事なのですが、「本当の友達とは何か」を私たちに教えてくれるものです。  
"A friend in need is a friend indeed."

直訳：苦難にあるときの友人は真実の友人。

意訳：まさかの友は真の友

読み方：「ア フレンド イン ニード イズ ア フレンド インディード」



台風が近づいています。周囲は大丈夫ですか？

## 「夢を決してあきらめない」

～武田双雲さんのエピソードから～

みなさんは武田双雲という方をご存じですか。一昨年大河ドラマ「天地人」のタイトル文字を書いた書家として知られ、テレビにも最近時々出ています。その武田さんにまつわる若い頃（今でも36歳）のエピソードにこのようなものがあります。

武田さんは、最初25歳くらいまでN T Tに勤めていました。いくら字がうまくても書道家では飯が食えないという理由からの就職であるのですが、何か毎日が楽しくない。そんな中、ある時、路上でサクスを吹いている人の演奏を聞いて、自ずと泣けてきた。自分もこんなふうに人を感動させることをやってみたいと思いついて、何と会社を辞

めまして、路上に出て「幾らかでもいいのでお持ちさしなさい」と声をかけました。最初は「松田聖子」と書いてくれた。おま、本当に字がうまいな。何となく、千円をいただいた。お客は武田さんの書いた気持の込められた紙を路上にいても簡単に捨ててしまった。あ、あ、やっぱり会社やめなさい。あ、あ、食っていけないと思った。しかし、彼の偉いところは、そこでくじけなかつた。次は、原宿かどこかで、ある女性に「愛」という文字を書いてくれと頼まれ、一生懸命書いた。その女性が感動してぼろぼろと泣くんです。失恋間もない彼女にとって武田さんの「愛」という文字が大きな勇気を与えてくれたのです。

その後、武田さんは、人を感動させることができるなら、この仕事を続けようと精一杯頑張ります。そのうち、吉永小百合さん主演の映画「北の零年」のタイトル文字などの依頼が入り、現在では超有名の人となっています。【**幸せは獲得するものではなく、まして、自然と訪れるものでもない。気づくことだ。**】

とは、弱冠三十幾つにして言った彼の言葉ですが、何と感動させる話ではありませんか。生徒には、常に夢を持たせたいものです。

### 【緊急通知！】市の教育委員会から

郡山市内で交通事故による死亡事故が連続して発生し、警察署は「交通死亡事故多発警報」を発令しました。この事故多発中、過日、市内の中学生が自転車で通学する際に、交差点で一時停止をしないまま、ライントランジションの飛び出しの禁止など周知徹底するようにとの連絡が入りました。現在新人戦前で、薄暮の中6時半過ぎに下校する生徒も多いため、十分に指導していきたいと考えています。

